

本市議会の



質問内容（議案外の質問に限ります）

本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案などです。

質問時間

答弁を含め、一人当たり60分以内です。

高齢者

認知症による行方不明者の早期発見に向けて

問

6年中に警察に届出のあった認知症による行方不明者数は、前年よりも減少したが、依然として高い水準で推移している。行方不明者の早期発見に向けた市の取り組みを聞きたい。

答

行方不明になる可能性がある高齢者などを対象に、探索機器を貸与している。家族が位置情報を確認できるため、安心して暮らせる手段の一つと考えている。

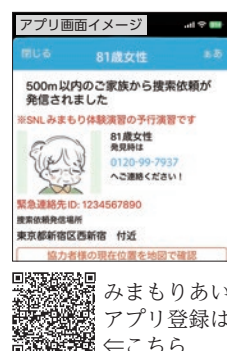


靴などに取り付け、位置情報を確認できる探索機器貸与サービス

問

搜索支援のスマホアプリである「みまもりあいアプリ」は、登録者が協力者となり、認知症の高齢者をはじめ

とする行方不明者の情報を家族から受信できるため、地域力のある本市の特性をいかした搜索ができるものと考え、本アプリの登録者を、さらに増やすための周知方法は。



みまもりあいアプリ登録はこちら

答

認知症関連の普及啓発イベント参加者や、認知症高齢者ネットワーク会議等を通じてアプリを周知している。また、搜索に協力する活動だけでなく、地域での見守りが当たり前になることを目指し、普及啓発を図っていく。

高齢者ボランティア・ポイント制度の存続を

ボランティアを行うとポイントが付与され、買い物券と交換できる高齢者ボランティア・ポイント制度を7年度末で終了し、八王子でよくポイント（てくポ）への移行を市は進めている。この制度が無くなることを惜しむ方もいるため、存続できないか。どちらのボランティア制度も、介護予防を目的とした取り組みである。てくポは、日々の歩数や脳トレ、イベント参加等でもポイントが付与され、より多くの方に、さらなる介護予防につながる働き掛けができることから、高齢者ボランティア・ポイント制度を展的に存続できるものと考えている。

問

高齢者が安心して過ごせるまちにするためにも、さらなる支援体制の強化が必要と考えるがどうか。

答

デジタル技術を活用した科学的根拠に基づく健康づくりと、地域での支え合いなどの施策を推進し、誰もがいきいきと安心して年を重ねることができるよう仕組みづくりを進めている。引き続き、必要なサービスが提供できる環境づくりに取り組んでいく。

高齢者が安心して過ごせるまちに向けて

健康・医療

マイナ保険証

利用への対応は

問

マイナンバーカードと健康保険証を一体化した、マイナ保険証利用によるトラブル

答

ルの約30%が電子証明書※の有効期限切れによることだが、これにより医療保険を利用できない期間はあるのか。電子証明書の有効期限が切れても、3カ月間はマイナ保険証を有効に利用できる。また、無効になる前に資格確認書を送付するため、引き続き国民健康保険は利用できる。



マイナ保険証を所有していない方や、期限切れの場合に送付される資格確認書

問

マイナ保険証保有の有無にかかわらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を送付する自治体もある。市民の安全・安心につながる取り組みを推進する本市でも、一斉送付すべきではないか。

答

法令上、一斉送付は想定されていない。加入者及び市内医療機関等に支障や混乱が生じないよう、関係法令等に基づき適切に対応していく。

※本人であることを電子的に証明するもので、書面での印鑑証明書に代わるもの。コンビニエンスストアでの住民票の写しの交付時等にも利用する